



2月平均卸値 1キロ 327円

鶏卵 最高値更新

JA全農たまごは二十八日、鶏卵の二月の卸売価格（東京地区、Mサイズ基準値）が月平均で一キロ当たり三百二十七円となり、統計が公表されている一九九三年以降で最高値を更新したと明らかにした。鳥インフルエンザの感染拡大による供給減少や、ウクライナ侵攻に伴う飼料代の値上がり影響が影響した。二十八日の卸値は過去最高に並ぶ三百三十五円となり、高止まりが続いている。

二月の月平均卸値は、これまで最高だった昨年十二月平均の二百八十四円より四十三円高い。一年前の二月平均（百七十五円）と比べると「百五十二円値上がりした。」

昨秋に始まった今シーズンの鳥インフルエンザは異例のペースで感染が拡大。鶏などの殺処分数が過去最多となった影響で卵の供給量が減少し、スーパーでの値上がりや、卵を使った商品の販売休止といった動きが相次いでいる。

鶏卵業界の関係者は「養鶏農家が飼料高を受けて生産量を絞った影響もあり、取引先に対して供給量を一定程度制限している状況だ」と話す。野村哲郎農相は二十八日の記者会見で「すぐに解決する話ではない。（供給が安定するには）半年、あるいは一年近くかかるのかもしれない」との見方を示した。